

27 水と緑による快適空間づくり			
主管課名	環境部 緑と公園課		
主管課長名	秋場 豊	電話番号	042-481-7080
関係課名 (組織順)	文化生涯学習課, 産業振興課, 農政課, 環境政策課, 下水道課, 都市計画課, 街づくり事業課, 道路管理課, 郷土博物館		
目的	対象	自然, 市民	
	意図	自然が保全・創出される, 自然との共生が図られる	
施策の方向	人と自然との共生を目指すために, 湧水, 公園, 崖線, 里山などの水辺や緑地を保全し, 連続性のある自然動植物の生息空間と緑豊かな美しい街並み・景観を形成する快適な空間づくりに取り組みます。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和3年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
<p align="center"><b>施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)</b></p>	
<p><b>(27-1 水と緑の保全)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>崖線樹林地等における市民団体の保全活動や, 市民等の公遊園清掃協力活動などへの支援とともに, 人材の育成などにも取り組み, 市民との協働による公園・緑地, 崖線樹林地の維持保全を進めた。</li> <li>緑の保全を図るため, 「みんなの森特別緑地保全地区の保管理計画」の策定を行うとともに, 深大寺・佐須地域において農業公園を新たに整備し, 令和6年度の開園に向けて運用方法について検討を開始した。</li> </ul>	<p><b>①横断的連携による施策の推進</b></p> <p><b>■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度を目標年次とした前緑の基本計画の目標の達成状況をまとめた「緑の基本計画年次報告書（令和2年度版）」を, 庁内関係各課と連携して作成した。</li> </ul> <p><b>②調布のまちの魅力発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年延期となった東京2020大会の開催に合わせて, 調布・西調布・飛田給の駅前で市民サポーターと協働で, 緑と花があふれるまちとして迎えらるよう, おもてなしガーデンを展開するとともに, 市内の地域グループが実施する花いっぱい運動に継続して取り組んだ。</li> </ul>
<p><b>(27-2 水と緑の創出)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域ニーズに合わせた公園等の整備を計画的に実施するため, 公園・緑地機能再編整備指針に基づき, 多摩川市民広場周辺実施区域の核として, 多摩川市民広場を整備した。また, 凸凹山児童公園周辺実施区域においても整備プラン策定に向け, 市民との意見交換会を実施し, 意向調査等に取り組んだ。</li> </ul>	<p><b>①横断的連携による施策の推進</b></p> <p><b>■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道敷地整備計画に基づき, 関係各課と連携し, (仮称) 鉄道敷地公園 (相模原線) の映画ゾーンの設えについて検討した。</li> </ul> <p><b>②調布のまちの魅力発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たにボール遊びのできる公園として, 多摩川市民広場を整備した (令和4年4月リニューアルオープン)。</li> </ul>
<p><b>(27-3 深大寺・佐須地域環境資源保全・活用の推進)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の豊かな環境を調布の財産として次世代に引き継いでいくため, 里山の風景が残る地域の環境資源を活用し, 「雑木林ボランティア講座」, 「こどもエコクラブ」等を開催することで, 環境活動の担い手の育成や市民の環境保全意識の啓発を図った。</li> <li>「深大寺・佐須地域農業公園」の整備工事を行うとともに, 令和6年度の開園 (本格運用) に向けて, 庁内各課に利用の意向調査を行った。</li> </ul>	<p><b>①横断的連携による施策の推進</b></p> <p><b>■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当該地域で, 生産緑地の買取り申出によって公有化した土地を活用し, 里山や農に触れ合える体験型の環境学習・環境教育の場として活用した。特に, 水田として活用している場所は, 市立柏野小学校や近隣の私立学校の児童及びその保護者, 教員, 近隣市民等の多くの方々が, 田植えや稲刈りを行い, 収穫したお米を給食に提供するなどの取組を行った。</li> </ul> <p><b>②調布のまちの魅力発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>里山や公有化した土地を活用して, 体験型の環境学習を実施するなど, 都市農地を含む里山環境の保全意識を醸成する取組を市民団体やNPO法人等との協働により推進した。</li> </ul>

＜令和3年度における施策の成果についての総括＞

- ・特別緑地保全地区みんなの森については、令和2年度及び3年度の2箇年をかけて、現地観察会やワークショップ等を行い、市民参加のもとで保全管理計画を策定した。
- ・「公園施設長寿命化計画」に基づいた公園遊具の改築・更新に向け、利用者要望の調査を実施した。また、障害のある方の保護者や関連団体に意見照会を実施し、意向把握に努めた。
- ・東京2020大会の開催に合わせて、緑と花があふれるまちとして迎えられよう、調布・西調布・飛田給の駅前で市民サポーターによるおもてなしガーデンを展開するとともに、地域グループによる公園や道路の植栽帯を利用した花いっぱい運動事業に継続して取り組んだ。

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値			目標値 令和4年度	達成状況※ 令和3年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
1 公共が保全する緑の面積	149.07 (H29)	ha	149.29	149.42	149.40	149.70	▼
2 市民一人当たりの公園面積	5.54 (H29)	m <sup>2</sup>	5.45	5.44	5.44	5.50 以上	⇒
3 区域での環境学習等の延べ参加人数	6,023 (H29)	人	6,455	6,704	1万46	6,300	◎

【特記事項】指標の対象は、市や都が管理する公遊園・緑地・緑道・崖線樹林地及び民間が所有する緑地で市が補助対象としている保全地区

※R3年度の達成状況は、以下の区分により記号を記入

- ◎：目標値を達成
- ：前年度より向上した
- ▼：前年度より低下した
- ⇒：前年度と同じ
- ：数値未把握（調査未実施など）

◆まちづくり指標の目標達成見込み（令和4年度見込みを含めた現基本計画期間における達成度）

- ・達成見込みを次の区分により記号を記入
  - ◎：「目標値達成に向け順調に推移」
  - ：「目標値達成は現状難しいが、前年度より向上する見込み」
  - △：「目標値達成は現状難しく、前年度と同等又は悪化する見込み」

まちづくり指標	達成見込み	要因・課題 (目標達成・未達成の要因・次期基本計画に向けた課題等)
1 公共が保全する緑の面積 (目標値：149.70ha 現状値：149.40ha)	△	相続等に起因する借地公園等の閉園 都市計画公園、公園不足地域における用地取得
2 市民一人当たりの公園面積 (目標値：5.50 m <sup>2</sup> 以上 現状値：5.44 m <sup>2</sup> )	△	相続等に起因する借地公園の閉園 人口増加に伴う一人当たりの公園面積の減少 都市計画公園、公園不足地域における用地取得
3 区域での環境学習等の延べ参加人数 (目標値：6,300人 現状値：1万46人)	◎	深大寺・佐須の公有地（水田・畑）の耕作・稲作体験の参加者の増加 野草園の入園者数の増加

2 令和3年度の振り返り — 評価（CHECK）

◆施策の成果向上に向けて、令和3年度に実施した取組に対する評価

※コロナ禍を踏まえたプロセス、実績、成果の総合評価

総合評価	A	S：「実施した取組において顕著な成果が得られた。」 A：「実施した取組において予定した成果が得られた。」 B：「実施した取組において一定程度の成果が得られた。」 C：「実施した取組においてあまり成果が得られなかった。」 D：「実施した取組において成果が得られなかった。」
評価理由	・開発等により保全地区の面積が減少したものの、公園等の整備促進により、公共が保全する緑の面積が増加したため。 ・人口増加により、一人当たりの公園面積は減少し、令和4年度の目標値である5.50m <sup>2</sup> には至らない結果となったが、公遊園の総面積は増加したため。 ・まちづくり指標のうち、「区域での環境学習等の延べ参加人数」については、コロナ禍で外出が難しい方々に、少しでも野草園に咲く草花の魅力伝えるため、写真とともに開花情報等を数多くツイッターで発信したところ、野草園の入場者数が増加し目標値を達成した。	

◆現基本計画期間（令和4年度見込みを含む）における施策の取組状況

・左欄と右欄において、丸数字で対になるよう記載

<b>計画どおり・計画より進んだ取組等</b> （現基本計画で予定した成果が十分得られる）	<b>今後の取組の方向</b> ※近隣自治体との比較があれば併せて記載
①崖線樹林地等の保安全管理計画策定（みんなの森特別緑地保全地区） ②花いっぱい運動活動団体（65団体）、おもてなしガーデン（3箇所）、崖線樹林保全活動団体（7団体） ③公園施設長寿命化計画に基づく公園の改修工事 ④緑地の公有化（深大寺元町特別緑地保全地区、深大寺・佐須計画区域） ⑤緑の基本計画策定 ⑥多摩川市民広場周辺区域機能再編 ⑦鉄道敷地公園（西側端部・相模原線）	①令和2、3年度に市民等との意見交換を重ね、令和4年3月に保安全管理計画を策定した。今後は、計画に基づき近隣の方々と連携し管理していく。 ②団体の相互交流が出来る催しを実施するなど、緑を取り巻く様々な市民活動に対して、情報提供や補助、各種相談等、サポートを行っていく。 ③これまで長寿命化計画に基づき、遊具の更新を進めてきた。その他の公園施設として園内灯やベンチの老朽化が多々見受けられるため、今後は、遊具のみならず、ほかの公園施設においても長寿命化対策を講じていく。 ④深大寺元町については、管理計画を策定に向け調査を進め、深大寺・佐須においては、令和4年度から暫定運用、令和6年度からの本格運用に向け、農業公園の準備を進める。 ⑤令和3年3月に緑の基本計画を策定した。今後は、計画に基づき、各目標達成に向け事業を進めると同時に毎年、年次報告書を取りまとめ評価・検証を行う。 ⑥核となる多摩川市民広場の改修工事を令和4年3月に終え、令和4年度から複数年かけ、広場周辺の各公園整備（補修）を実施する。 ⑦鉄道敷地公園の西側端部は、土木・建築工事を終え、鬼太郎ひろばとして令和2年度に開園した。日々、大勢の来園者がいるため、衛生面も含めた環境の良い公園として維持管理する。 鉄道敷地公園の相模原線側は、建築工事が1年遅れたが、多くの子どもたちで日々賑わっており、今後は、映画ゾーンとしての設えを施していく。
<b>計画より遅れた取組等</b> （現基本計画で予定した成果が得られない）	<b>遅れの理由や次期基本計画に向けた対応課題等</b> ※近隣自治体との比較があれば併せて記載
①崖線樹林地等の保安全管理計画策定（深大寺元町特別緑地保全地区） ②五本松公園実施設計 ③凸凹山児童公園及び若宮自然広場等実施区域機能再編 ④実篤公園の保安全管理	①コロナ禍の影響により事業の実施時期を1年遅らせ、令和4年度に測量を含む動植物等の現況調査を実施し、次年度以降に計画を策定する。 ②河川管理者の意向を踏まえ、公園のあり方を検討し、次期基本計画に位置付ける。 ③令和3年度に整備プラン策定を予定していたが、コロナ禍の影響により予定していた地元との意見交換会が1回しか実施できず、意見集約が十分に出来なかった。計画上、全体的に1年遅れとなるが引き続き事業を進める。 ④計画策定や実施設計までには至らなかったが、令和4年度から土砂災害警戒区域等における崖線樹林調査を実施する。

◆現基本計画期間（令和4年度見込みを含む4年間）における施策の成果についての総括

<ul style="list-style-type: none"> <li>地域グループ及び3駅のおもてなしガーデンサポーターによる花いっぱい運動事業については、行政が核となって各グループのネットワークを構築する基礎を作ることができた。これにより、花壇活動が緑の創出の一助となり、調布の魅力につなぐことができた。</li> <li>公園施設長寿命化計画に基づき、『遊具の安全に関する規準』を満たした遊具の更新を実施した。標準使用期間を超えた複合遊具においては、令和4年度でほぼ更新を終え、遊具本体のみならず、遊具周辺の環境改善も実施し、子どもたちへの安全な遊び場の提供に寄与した。</li> <li>調布市公園・緑地機能再編整備指針に基づき、多摩川市民広場の改修整備を実施した。令和4年4月からボール遊びの出来る公園としてリニューアルオープンし、これまで以上に賑わいのある公園となり、市民の憩いの場の提供に寄与した。</li> </ul>	
評価	【評価区分】 現基本計画期間（令和4年度見込みを含む4年間）に対する進捗状況について、S～Dの5段階で評価 S：「計画以上に進捗した。予定以上の取組成果が得られた。」 A：「計画どおりに進捗した。予定した取組成果が得られた。」 B：「概ね計画どおりに進捗した。一定の取組成果が得られた。」 C：「進捗にやや遅れがみられた。あまり取組成果が得られなかった。」 D：「進捗に大きな遅れがみられた。ほとんど取組成果が得られなかった。」

### 3 次期総合計画期間を含む中長期的な施策の方向（2030年代を見据えた方向） — (ACTION)

◆施策を取り巻く状況【A】（国，東京都・近隣自治体の動向など）を踏まえた取組の方向

※次期基本計画における重要な視点となる「デジタルトランスフォーメーション (DX)・スマートシティ」, 「カーボンニュートラル」, 「産学官連携」のほか, 施策横断的なテーマである「共生社会の充実 (パラハート)」, 「安全・安心 (防災・減災・防犯・感染症対策)」, 「ソフト・ハードが一体となったまちづくり (中心市街地整備, 地域別まちづくり, 都市計画道路整備)」に関する状況や方向を記載

・右欄は左欄に対応する丸数字を記載

	市政に与える影響	左記を踏まえた市の対応課題・取組の方向
全国的な潮流等	①国においては, 都市緑地法等6つの法律 (都市緑地法, 都市公園法, 生産緑地法, 都市計画法, 建築基準法, 都市開発資金の貸付けに関する法律) を平成29年5月に一部改正し, 緑豊かで魅力的なまちづくりを実現するため, 地域の公園緑地政策全体のマスタープランの充実が求められている。	①国の法改正の趣旨を踏まえた新たな「調布市緑の基本計画」を令和3年3月に策定しており, 計画に基づく施策の推進が必要。 ②東京都と都内自治体で, 方針に沿った取組が進められており, 調布市としても実現に向けた具体策の検討が必要。また, 確保候補地への追加についても検討する必要がある。
東京都や近隣自治体の動向等	②東京都と市区町村が合同で策定した「緑確保の総合的な方針 (改定)」, 「都市計画公園・緑地の整備方針 (令和2年7月改定)」に基づく取組が進められている。	
その他		

◆施策を取り巻く状況【B】（国，東京都・近隣自治体の動向など）を踏まえた取組の方向

※上記の施策を取り巻く状況【A】の項目以外で, 法改正・制度改正などの状況や方向を記載

・右欄は左欄に対応する丸数字を記載

	市政に与える影響	左記を踏まえた市の対応課題・取組の方向
全国的な潮流等	①国は, 今後見直しが予定されている国際目標を踏まえて, 生物多様性基本法に基づく, 新たな「生物多様性国家戦略」の策定に向けて検討を進めている。	①②調布市の特性を踏まえ, みどりの保全・創出, 多様な主体との連携等の考え方を取り入れた「生物多様性地域戦略」の策定を検討する。 ③公園・公衆トイレ整備については, 耐用年数を踏まえた計画的な更新が必要。
東京都や近隣自治体の動向等	②国の「生物多様性国家戦略」の改定に併せて, 東京都も「生物多様性地域戦略」の改定作業を進めている。	
その他	③市議会からの要望を踏まえ, 公園・公衆トイレの更新等を計画的に進めるため, 更新時期等の検討を進めている。	

施策27「水と緑による快適空間づくり」に関連する基本計画事業

計画コード	88	重点P	⑤	人と自然が共生するうおいのあるまち
事務事業	公園・緑地、崖線樹林地の保全			総合戦略 ●
所管部署	環境部 緑と公園課 みどりの推進係・管理係			
事業概要	崖線樹林地等の保全を推進するとともに、崖線樹林地等における市民団体による保全活動に対して、支援の充実を図る。 市民グループによる公園清掃協力等を推進するほか、樹木せん定入門講座等の市民向けの講座の実施を通じて、市民活動への参加意欲を醸成する。 東京2020大会のおもてなしとともに、花いっぱい運動の更なる拡充を図り、大会後も持続できる仕組みづくりを行う。 借地公園の公有化を進める。 公園施設長寿命化計画を推進する。 公園トイレの整備・改築を進める。			
<b>[PLAN▷DO▷CHECK]</b>				
活動内容 (事業費ベース)	計画目標	令和3年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○安全で快適な公園・緑地、崖線樹林地の維持保全 ・みどり率34.1%の維持	○市民との協働による保全 ○崖線樹林地等の保安全管理 計画策定(深大寺元町特別緑地保全地区、国分寺崖線、みんなの森) ○花いっぱい運動の推進 ○公園施設長寿命化計画に基づく公園の改修工事 ○公園・公衆トイレ整備・改修計画に基づく取組  ○実篤公園の保安全管理に関する調査検討(計画策定)	○市民との協働による保全 ○崖線樹林地等の保安全管理 計画策定(みんなの森)  ○花いっぱい運動の推進 ○公園施設長寿命化計画に基づく公園の改修工事 ○公園・公衆トイレ整備・改修計画に基づく取組 ○樹木の健全度調査	○市民との協働による保全 ○崖線樹林地等の保安全管理 計画策定(みんなの森特別緑地保全地区)  ○花いっぱい運動の推進  ○樹木の健全度調査
事業費 (千円)		80,544	39,769	82,703
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0
令和3年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> コロナ影響			実績評価 ◎
説明	崖線緑地等の維持保全や活用について、市民団体(7団体)との協働による取組を進めるとともに、みんなの森特別緑地保全地区の保安全管理計画を策定した。 1年延期となった東京2020大会の開催に合わせて、調布・西調布・飛田給の駅前で市民協働で花いっぱい運動(おもてなしガーデン)を展開し、緑と花で来訪者を迎えた。また、公園等の花壇を利用して実施している地域グループの花いっぱい運動については、市内全域で65団体が活動を行った。 公園施設長寿命化計画に基づいた公園遊具の改築・更新に向け、利用者要望の調査を実施した。また、障害のある方の保護者や関連団体に意見照会を実施した。			
<b>[ACTION]</b>				
今後の方向	<input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input checked="" type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善			
今後の取組の方向	◆コロナ禍の影響を踏まえ先送りした事業について、実施スケジュールの調整が必要である。 市民との協働による崖線樹林地の保全や花いっぱい運動などの協働による緑のまちづくりの推進や、公園施設長寿命化計画に基づく設備の更新や補修工事などの緑と公園の質の向上と適正管理など、緑の基本計画に基づく各種緑施策を推進する。			

※新型コロナウイルスの影響に関連する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。

施策27「水と緑による快適空間づくり」に関連する基本計画事業

計画コード	89	重点P	⑤	人と自然が共生するうるおいのあるまち
事務事業	公園・緑地等の整備			総合戦略 ●
所管部署	環境部 緑と公園課 管理係			
事業概要	<p>緑の基本計画に基づき、公遊園等の不足地域の解消を図るなど整備を行う。                  新たな公園の整備や公園・緑地機能再編整備プランに基づく整備を行うに当たっては、設計段階からワークショップなど市民参加方式を取り入れることにより、地域のコミュニティの核となる空間として、親しみのある利用しやすい施設として整備する。                  崖線樹林地の活用・保全のための必要な整備を行う。</p>			
<b>[PLAN▷DO▷CHECK]</b>				
活動内容 (事業費ベース)	計画目標	令和3年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	<p>○計画終了年次における調布市緑の基本計画の目標の達成                  ・市民一人当たり5.5㎡の公園面積の確保                  ・公園不足地域の解消</p>	<p>○鉄道敷地公園(相模原線)トイレ工事                  ○多摩川市民広場整備工事                  ○凸凹山児童公園及び若宮自然広場等基本構想</p>	<p>○多摩川市民広場改修整備工事(第2期工事)                  ○多摩川市民広場トイレ改築工事                  ○多摩川市民広場トイレ改築工事監理業務委託</p>	<p>○多摩川市民広場改修整備工事(第2期工事)                  ○多摩川市民広場トイレ改築工事                  ○多摩川市民広場トイレ改築工事監理業務委託                  ○(仮称)鉄道敷地公園(相模原線)トイレ工事設計                  ○(仮称)鉄道敷地公園(相模原線)トイレ工事(繰越)                  ○(仮称)凸凹山児童公園・若宮自然広場周辺実施区域基本計画検討(繰越)</p>
事業費(千円)	149,161	221,571	242,967	
債務負担行為等による用地取得費	0	0	0	
令和3年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> コロナ影響			実績評価 ○
説明	<p>「多摩川市民広場改修と周辺地区の機能再編整備プラン」に基づき、多摩川市民広場の債務負担工事及びトイレ改修工事が完了した。                  鉄道敷地整備計画に基づき、令和2年度の繰り越し事業である(仮称)鉄道敷地公園のトイレ設置工事が完了した。</p>			
<b>[ACTION]</b>				
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善			
今後の取組の方向	<p>緑の基本計画に基づき、引き続き、新設公園や崖線の整備を推進していく。なお、調布基地跡地留保地スポーツ・防災公園については、公園用地取得に係る財源確保が困難な状況であるため、令和4年度以降も改めて検討を行うこととしている。                  引き続き、いなり橋児童遊園や西つつじヶ丘児童遊園のトイレ設計委託を進めるなど、計画的な公園整備を図る。                  ◆令和2年度から凸凹山児童公園及び若宮自然広場等に関する基本構想の策定に着手しているが、コロナ禍の影響により市民参加の機会が確保できていない。計画に遅れが生じる事となるが、令和4年度以降も十分な市民参加機会を確保しながら、引き続き検討を継続していく。                  深大寺・佐須地域の用地取得及び土地の活用については、関係部署と連携・調整を図りながら取組を進めていく。</p>			

※新型コロナウイルスの影響に関連する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。

施策27「水と緑による快適空間づくり」に関連する基本計画事業

計画コード	90	重点P	⑤	人と自然が共生するうるおいのあるまち	
事務事業	深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用			総合戦略	●
所管部署	環境部 環境政策課 環境保全係				
事業概要	<p>深大寺・佐須地域は、国分寺崖線の周辺に広がる「はげ」の豊かな湧水による用水路に沿って、都市農地や屋敷林等が広がり、武蔵野の面影を残す里山の風景を形成している。</p> <p>その豊かな環境を調布の財産として将来世代に引き継いでいくため、「深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画」及び「深大寺・佐須地域農の風景育成地区」に基づき、都市農地を含む里山や水辺など、地域の環境資源の維持保全・活用に向けて、国や東京都と連携し、里山風景の保全に向けた様々な取組を推進する。</p>				
<b>【PLAN▶DO▶CHECK】</b>					
活動内容（事業費ベース）	計画目標	令和3年度			
		（計画）	（当初予算）	（決算・実績）	
	<p>○深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施のための調査・検討</li> <li>・事業の推進</li> <li>・緑地の確保</li> <li>・庁内連携</li> </ul>	<p>○深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業公園の整備・運営開始</li> <li>・公有化した土地の活用の事業実施</li> <li>・農地周辺の環境整備等に係る協働事業及び地域での環境学習事業の確立</li> <li>・地域での環境事業の試行と確立後の事業実施</li> <li>・水路周辺の生物・水質調査の実施</li> </ul> <p>○佐須農の家の管理・運営</p>	<p>○深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業公園の整備（土木工事）</li> <li>・公有化した土地を環境学習等の機会として暫定活用</li> <li>・農地周辺の環境整備等に係る協働事業及び地域での環境学習事業の確立</li> <li>・地域での環境事業の試行と確立後の事業実施</li> <li>・水路周辺の生物・水質調査の実施</li> </ul> <p>○佐須農の家の管理・運営</p>	<p>○深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・深大寺自然広場や公有化土地を活用した環境学習・環境教育の実施</li> <li>・深大寺・佐須地域農業公園の整備</li> <li>・佐須の用水路の水質・水生生物調査の実施</li> </ul> <p>○佐須農の家の管理・運営</p>	
事業費（千円）		18,491	53,556	54,392	
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0	
令和3年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> コロナ影響			実績評価	◎
説明	<p>地域の豊かな環境を調布の財産として将来世代に引き継いでいくため、都市農地が残る里山の風景の保全に向けて、令和2年7月に東京都の「農の風景育成地区」に都内5地区目として指定され、東京都と連携した取組を強化している。</p> <p>令和3年度は、環境活動の担い手の育成や市民の環境保全意識の啓発を図るため、「雑木林ボランティア講座」や「こどもエコクラブ」等の自然体験型の環境学習事業を実施したほか、当該地域で生産緑地の買取り申出によって公有化した土地（水田・畑）を活用し、近隣学校の児童や市民等の多くの方々に耕作・稲作体験の機会を設けるなど、NPO法人との協働で様々な環境啓発事業を実施した。なお、収穫したお米や野菜は学校給食やフードバンク調布、子ども食堂に提供するなどの取組を行った。その他、地域の環境活動を支援する施設である「調布市佐須農の家」の管理・運用を行った（貸出件数：延べ35件、利用者数：延べ313人）。</p> <p>また、緑と公園課では令和3年度に深大寺・佐須地域農業公園の土木工事を行った。</p>				
<b>【ACTION】</b>					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善				
今後の取組の方向	<p>深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画及び深大寺・佐須地域農の風景育成地区に位置付けた施策・事業に基づき、貴重な里山環境が残る地域の環境資源の保全・活用に向けて、地元農家の意向を尊重しながら様々な事業を推進していく。</p> <p>令和4年度は、引き続き市民団体やNPO法人等との協働により、里山や公有化した土地を活用した自然体験型の環境学習を推進するほか、深大寺・佐須地域農業公園の開園に向けた取組を進めるなど、里山の風景を継承する取組を推進する。</p> <p>また、「調布市佐須農の家」を拠点として、里山環境保全の大切さを啓発する事業や環境学習事業などを実施することにより、生物多様性の視点を含めた地域の貴重な環境資源に対する保全意識を醸成する環境づくりに取り組む。</p> <p>深大寺・佐須地域農業公園については、トイレ等の管理棟を設けるために、令和4年度に設置工事設計業務委託、令和5年度に建築工事を行う。</p>				

※新型コロナウイルスの影響に関連する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。